

みんなで考えよう！

# 公共施設の未来

vol.4

企画政策課経営管理係

☎ 0562・92・8318

## 豊明市公共施設等 総合管理計画とは？

このコーナーも第4回目を迎えました。

第1回は、公共施設の老朽化の話。建築後、30年以上経過する施設が全体の77%に及ぶ。

第2回は、人口減少の話。

40年後は現在より20%人口が減少する。

第3回では、更新（建替）

費用の話。今後40年間で80億円必要である。

と、公共施設白書に掲載されているデータについてお伝えしました。

白書からは、公共施設の老朽化が進み、近い将来一斉に更新の時期を迎えるが、人口減少等により財政状況の悪化が予測されます。このため、更新費用を賄うことができず、

今あるすべての公共施設を維持していくことは不可能であることが分かりました。

公共施設等総合管理計画は、この様な状況を踏まえ、長期的な視点で公共施設全体をマネジメントし、財政負担の軽減を図ることを目的として策定しました。豊明市は計画の中で、公共施設の縮減目標を延床面積で30%と設定し、市の基本的な考え方として、①新規の施設は原則建設しない、②施設を更新する場合は複合化を推進し、統廃合により延床面積を縮減することとしました。

30%の延床面積を縮減するために市は、3階層マネジメント法の考え方を取り入れ、床面積を縮減してもサービスは極力低下しないよう検討していきます。

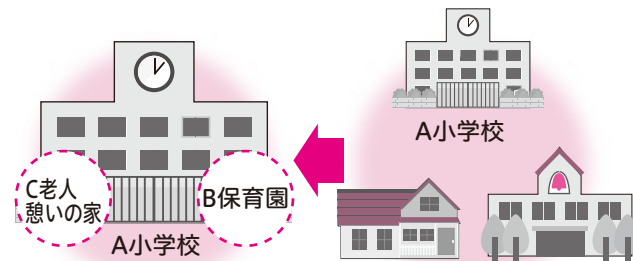
## < 3階層マネジメントとは >

公共施設が提供するサービスを受ける受益者の範囲から下記のように3種類の階層に分け、それぞれの階層に合ったマネジメントを実践するものです。

施設の統廃合や複合化・集約化により施設重視の現状から機能重視への転換を図ります。施設までの距離が遠くなったり、多少不便になる部分もありますが、施設が全く無くなるということは避けることができます。

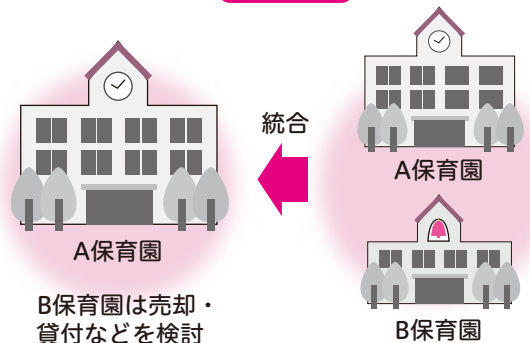
- 1層 全域**（図書館、文化会館、体育館など市内全域を対象としている施設）
  - ..... 広域化⇒ワンセット主義を捨て、近隣自治体間で相互利用する。2つの自治体で分担して持ち合えば、負担は2分の1になる。3自治体で持ち合えば3分の1になる。
- 2層 校区**（小中学校、保育園、児童館など学校区単位で利用される施設）
  - ..... 多機能化⇒学校など施設の更新、大規模改修時に複数の機能を持たせ、複合化・集約化を図る
- 3層 住区**（老人憩いの家、集会所など利用者が限定的な施設）
  - ..... ソフト化⇒建物を所有せず、民間の施設を利用する。塾や飲食店等の空き時間や空きスペースを利用し、市は必要に応じて利用料補助等を行う。また、2層の多機能化された施設にテナントとして入ることも有効。

## 複合化・集約化



B保育園・C老人憩いの家は売却・貸付などを検討 C老人憩いの家 B保育園

## 統廃合



B保育園は売却・貸付などを検討